



自殺しようとした人が 生きる勇氣を得た

友達に誘われ
相談

コロナ感染が猛威を振るう中、副組合長の和田壽子さんの所に断酒会の会員が生きるすべを失い自殺を考えている人の相談があり、組合に断酒会の役員と同行してきました。

本人は57歳の単身者で音楽関係の仕事をしてきたが、雇った従業員がヤクザで麻薬中毒者でその男に麻薬を勧められ、本人も麻薬中毒者になり、離婚され、片足は交通事故で歩行不能になり、自暴自棄となり、酒に溺れアル

コール中毒になりました。2度目に結婚した相手から離婚され、本人は生きて行くすべを失い自殺することを考え、持ち金も全部使ってそのお金で8回ほど旅行をして使っていたが、残りのお金が少なくなつて自分の持家が借地であるので、地主に借地の返還を申し出た所、地主は解体してくれと言われ、解体工事費を見積もってもらつたら鉄筋3階建なので400万円かかると言われ、手持ち金が120万円しかなく、このまま死んだら、遺族に迷惑が掛かり死ぬに死ねないどうしたら良いのか、という相談でした。

生きてゆく方策はないか、自分一人で抱え込まずに、地主さんや友人、知人、親戚の人にすべてをさらけ出して相談してみても「飛び込んで浮かぶ瀬もあれ」という諺もある思い切つて、自分が付き合つた人に相談してはその結果、どんなことがあつても組合は貴方を見放さないよ、勇氣を出して頑張るようすすめ、その結果、組合にすぐ報告下さいと指導しました。

翌日、本人から電話があり、「えらいことになりました」開口一番にびっくりする返事が返つて来たので驚き、何があつたのかと聞いたら、昔、親しくしていた大学病院で教授をしている従兄弟に電話で相談したところ、「そこまで考えている

ことはない。お前がお金で困つて死なすことはできない、私が全部出してやる」と言われ、解体費400万円と次の住む家の費用として300万円、身体障害者で働けないのなら月々15万円毎月送つてやるから死ぬと言われ私みたいな、生きていても値打ちのない人間にどうして、ここまでしてくれるのと尋ねたら、私の母(本人の叔母)が亡くなった時、一番に駆けつけ母のために泣いてくれた、お前こととは忘れた事はない。「死ぬなよ、わしが絶対守つてやるから心配するな」、明日でも早く来いと言われて二日後栃木県まで行くことになりました。

一人で悩まず
周りに相談を

組合では、57歳では人生まだまだ長い、いま死ぬことを考えずに

私も生きるため
再スタート

これでも私も生きるために頑張りますと電話で報告が入りました。コロナ感染自粛で暗い話が多い中、心温まるドラマチックなできごとがあつた1日でした。

お知らせ

○街頭宣伝チラシ配布
3月15日(月)
午後1時50分 組合に集合

○弁護士無料相談会
3月17日(水)
午後2時〜組合事務所
午前10時〜組合事務所

○司法書士無料相談会
2月27日(土)
3月13・27日(土)

○きりたつぷ昆布
一袋 100グラム 600円

○あげます貰いますコーナー
カセットテープ(多数)と歌詞

入会者紹介

- 福本顯久さん ○○
- 飯田仍子さん ○○
- 東中川悦二さん ○○
- 加藤博三さん ○○
- 岡本 毅さん ○○
- 川畑信治さん ○○
- 大中一馬さん ○○
- 森美津雄さん ○○
- 西田悦子さん ○○
- 古川泰造さん ○○
- 川畑万里子さん ○○
- 桑原マサ子さん ○○
- 永井富夫さん ○○
- 仲栄眞盛順くん ○○
- 中条房江さん ○○



空きテッシー箱の
利用法

空きテッシー箱が要らなくなつたマスクやハガキ類、領収書、写真、住所氏名が記入されている病院関係やその他の書類など、テッシー箱に入れて捨ててください。

スーパードライや日用品だけの領収書入れを一つ作り、入れて置くのと以前の料金を調べるのにも役立ちます。

主な活動

- 1月 ニュース会議
- 7日 借地相談 川西野口さん
- 8日 借地相談 野口さん
- 9日 司法書士相談 役員会
- 12日 リメイク教室
- 13日 内容証明発送 浦上さん
- 18日 駅頭宣伝
- 18日 借地立退き相談 東中川さん
- 19日 借地立退き相談 会
- 20日 ライト法律相談
- 20日 借地立退き入会 川畑万里子さん
- 22日 借地立退き入会 桑原マサ子さん
- 23日 司法書士相談
- 25日 組合2月ニュース編集会議
- 26日 鍋島裁判(神戸地裁)
- 28日 西宮何でも相談 会
- 29日 鍋島神戸地裁 公判
- 2月 借地立退き相談 中条さん入会
- 2日 リメイク教室
- 4日 和田尼崎地裁公判
- 8日 ニュース割付会議 役員会